



目次

- 00 グッディーホームズについて
- 01 土地選びからはじめるマイホームづくり／建築中から完成後も安心な保険やサポート
- 02 マイホーム完成までの流れ
- 03 グッディーホームズ“家づくりのノウハウ”
 - ・ ツーバイフォー(2×4)工法とは？
 - ・ 断熱と気密
 - ・ 窓
- 11 施工例「Surfer`s House／湘南の波と暮らす」
- 15 施工例「Built-in Garage House／吹き抜けのリビングルーム」
- 19 施工例「House with a Rose Garden／スモーキーカラーのアンティークハウス」
- 23 施工例「Old France Country Home／南フランスのぬくもりある暮らし」
- 27 施工例「Small`n cozy／小さいながらも落ち着ける我が家」
- 31 リフォーム&リノベーション



グッディーホームズについて

私たちグッディーホームズは、湘南エリアを中心に輸入住宅の建築をしている工務店です。

営業・設計・大工(現場)の各担当がチームを組んで、

“土地探しからお家の完成まで”一貫して、お客様の理想の家づくりをサポートしています。

土地探しから はじめる マイホームづくり。



グッディーホームズでは、これから土地をお探しになるお客さまをサポートします。土地の見える部分だけでなく、建築中やその後の暮らしのリスクやデメリットも、事前に建築家と一緒に調べるので安心です。

家づくりをする工務店と土地を探す3つのメリット

メリット1

柔軟な建築プラン

土地ごとに建物のプランをお作りしますので、比較しながら決定できます!(先に購入した土地の条件に、プランが左右されることを回避できます)

メリット2

安定した資金計画

土地選びから建築の完成まで一貫してサポートをしますので、資金計画がぶれず、予算通りのマイホームをつくることができます!

メリット3

仲介手数料が安い

仲介手数料が一般的な不動産屋さんと比べて半額以下!



3,000万円の土地の場合…
グッディーホームズ **1.5%** 495,000円(10%税込)
一般的な不動産屋さん **3% + 6万円** 1,056,000円(10%税込)

約56万円もお得!

建築中から完成後も 安心な 保険とサポート。



ハウスワランティ住宅ワイドサポート

万が一、建築途中に事故や倒産などで工事がストップしてしまった場合でも、建築中から建築後にわたって、お客様の3つのサポートで安心・快適をお守りする一般社団法人の「ハウスワランティ住宅ワイドサポート」に加入しております。

- ① 工事引き継ぎサポート
- ② 補修・メンテナンスご相談サポート
- ③ 長期瑕疵補修サポート

20年の地盤保障

不同沈下などの地盤のトラブルによって住宅に損害が発生した場合に、建物や地盤の修復費用を20年保障する「ハウスワランティ地盤保証」に加入しております。

住宅瑕疵担保責任保険

「住宅瑕疵担保履行法」に対応した住宅保証機構の「まもりすまい保険」に加入しております。

住宅品質確保法で定められた基本構造部分(構造耐力上主要な部分及び雨水の浸入を防止する部分)を対象とし、新築住宅のお引渡しから10年間は、補修費用に対して保険金が支払われます。

- ※新築時の保証
- ※火災・地震などによる損害については別途保険の加入が必要

マイホーム完成までの流れ

Process Map of House Making



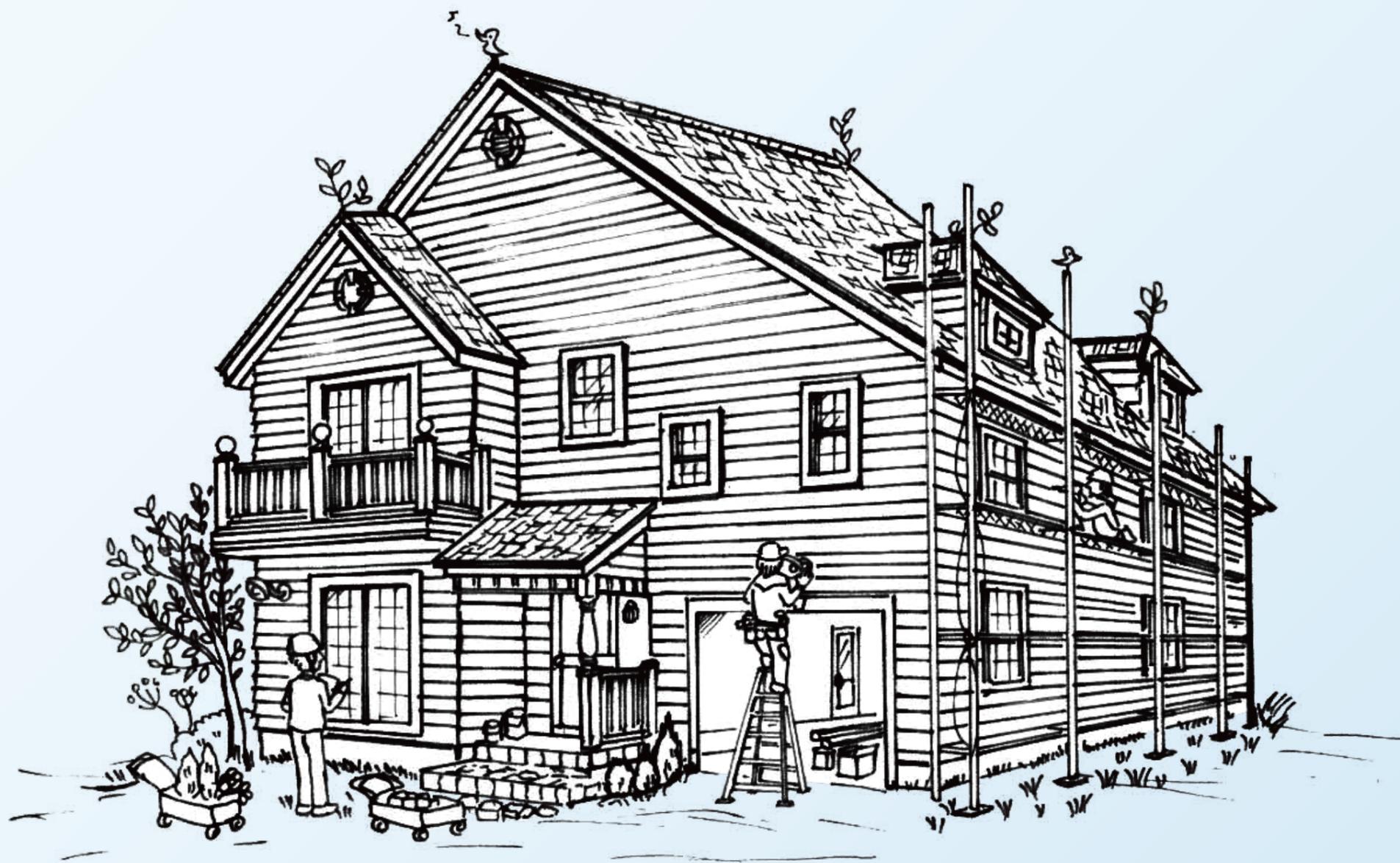
*お客さまと、大工・現場管理・営業が、実際の建物内で、電気配線など細部の確認、打ち合わせをします



FINISH

Goodyhomes 家づくりのノウハウ

私たちグッディーホームズのつくる家は、
すべて「ツーバイフォー工法」でお作りしています。
なぜなら、
私たちは、この工法が最も優れていると信じているからです。
その理由と根拠を工法の成り立ちと共にご紹介します。



ツーバイフォー工法とは？

What's 2x4 construction method?

ツーバイフォー工法とは、正式には「木造枠組壁工法」といいます。20世紀の前半にアメリカで確立された建築方法です。

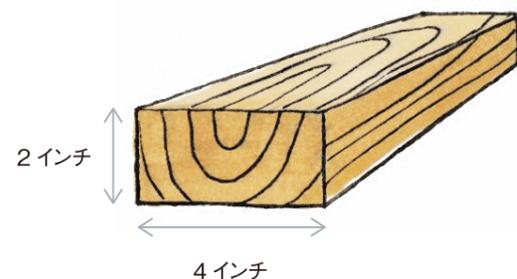
よく「木造軸組工法（在来工法）」と比較されることが多いですが、枠組壁工法は、実は軸組工法から出発し、その後「バルーン工法」→「ツーバイフォー工法」と進化していきます。

19世紀（西部開拓時代）のアメリカも当初は、軸組工法を用いて家を建築していました。しかし、増え続ける圧倒的な移民人口に大工職人が足りず、住宅の供給が不足するという自体が起きていました。そこで生まれたのが「バルーン工法（通し壁工法）」です。

バルーン工法では、一面の2階の軒までの壁（枠組）を立て起こし、2階の床は壁に指し込むようにして造られます。木材は2インチと4インチの太さのもののみを使い、手順も簡略化され、人数を揃えれば素人でも造ることができるようになりました。折しも、当時のアメリカ大陸では、蒸気機関の鉄道網の整備、水力による製鉄などの産業によって、規格化された製材と釘の大量供給を可能としました。

バルーン工法の語源は諸説ありますが、造り方があまりに単純過ぎたので、専門の大工職人から、風で飛んでいく「風船（バルーン）」と揶揄されていた、という説が有力です。熟練した職人が柱と梁を組み上げる軸組工法と比較すると、工場で量産規格化された「軽く細い」製材と釘で造られた「壁」を立て起こすだけのバルーン工法は、あまりにも頼りなく見えたのでしょう。しかし、築100年を超えるバルーン工法の家が現存する事実は、この工法の確かな耐久性を証明しています。

軸組工法からバルーン工法への移行で、重要なことが2つあります。第一に、手順が合理化されたことです。経験則を明文化し、そのルールブックに基づいて造り上げるのです。



規則に基づいて造れば、所定の性能を確保できるという考え方です。ルールブックには、使用する釘の太さや打ち方、枠組の造り方など、様々な規則が詳細に書かれています。第二に、「線（柱）ではなく面（壁）を基本単位」としたことです。これは、木造住宅の歴史上、とても重要で画期的なアイデアでした。細い木材でも壁として一体化することで、太い柱よりも強い剛性を持つようになるのです。これらの考え方をさらに推し進めた工法が、私たちグッディーホームズもこだわっている「木造枠組壁工法（ツーバイフォー工法）」です。

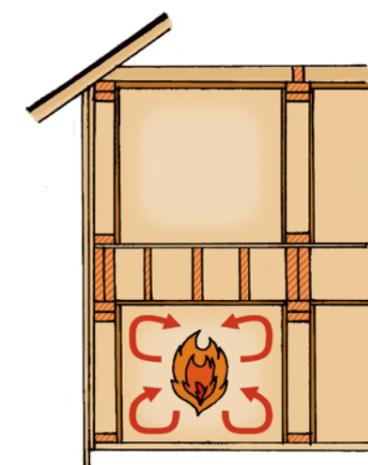
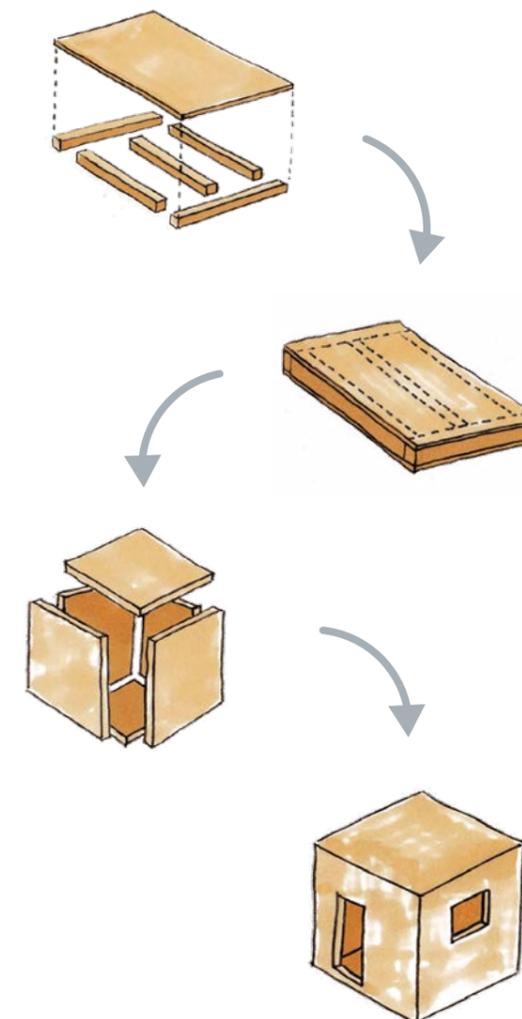
画期的なアイデアでもあったバルーン工法にも弱点がありました。それは材料に長い木材を必要とすることと、防火性です。火災の際、2階の軒まで連続する壁内が、かえって空気の通り道となり、延焼の要因となってしまうのです。

その問題を改善するため、枠組壁工法では1階の床枠・1階の壁枠・2階の床枠（1階の天井）・2階の壁枠と構造を分けて、積み上げて構成されています。1階の壁と2階の壁を2階の床で分断することで、空気の流れを遮断し、延焼しにくい構造となりました。

また、平坦な床の上で作業できるようになり、枠のサイズが小さく軽くなったことで、より少ない人数で壁を立て起こすことができるようになりました。

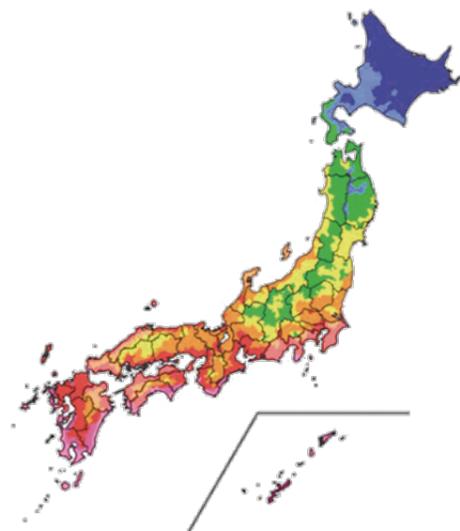
この間、構造用合板や石膏ボードの発明等の建材の進化もあり、これを背景として枠組壁工法が完成。1950年代以降、アメリカとカナダ全土に急速に普及しました。

つまり、枠組壁工法と軸組工法は決して対立するものではないことがわかります。必要に迫られた住宅の生産性改善が、枠組壁工法を生み出したのです。グッディーホームズでは、この合理的かつ強い耐性を持ち、さらに耐火性の高い木造建築である「枠組壁工法の家」にこだわり、つくり続けています。



■ 12.5mmの石膏ボード
■ ファイヤーストップ材

住 宅の断熱性能は、一棟一棟計算される「外皮平均熱貫流率(UA値)」が判断基準になります。UA値は地域によって異なり、日本全国を8地域(1地域~8地域)に細分化して、右図のようにそれぞれの地域に基準が定まっています。(UA値は、数値が低いほど「断熱性能が高い」ということになります)グッディーホームズでは、UA値0.4以下をお勧めしていますが、ご予算に応じて柔軟に対応いたします。



外皮平均熱貫流率 (UA 値)
UA 値 [W/㎡・K] = (温度差 1℃)

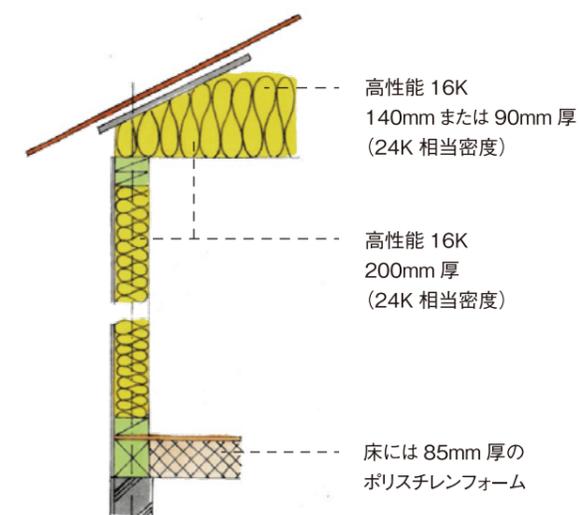
平成28年 省エネルギー基準における UA 値							
1	2	3	4	5	6	7	8
0.46 以下	0.56 以下	0.75 以下	0.87 以下		基準なし		

※グッディーホームズのある神奈川県は、UA 値が 5~6 地域です。

断 熱や気密の性能のみを追い求めると、窓が少なく、天井が低く真四角な間取りとなります。対して、わたしたちグッディーホームズが得意とするのは、勾配天井や多角形の複雑なデザイン。このような間取りは、壁と勾配天井の取り合い、屋根と屋根との交差部等、一般的には、断熱の欠損や気密の漏れが起こりやすいとされています。



過 去、断熱専門の会社に外注することも検討していましたが、わたしたちは施工技術の内製化を選択し、実際に様々なオーダーメイドの間取りの断熱工事を経験、試行錯誤してきました。そして今日、断熱工事のスペシャリストであると自負しています。(時折、検査員の方に、「ここまで丁寧に施工しているのですね」と驚かれるなんてこともあります!) どのような間取りでも、確実な施工をお約束します。



断 熱材は、部位に応じてグラスウール、ポリスチレンフォーム、フェノールフォームを適宜組み合わせで施工しています。気密材は、0.2mm厚の防湿フィルムを基本に、各種シーリング材、コンセントカバーなどを使用しています。



コンセントボックスの周りも、隙間なくグラスウールを施工しています。パイプの隙間はテープで塞ぎ、気密性を高めています。

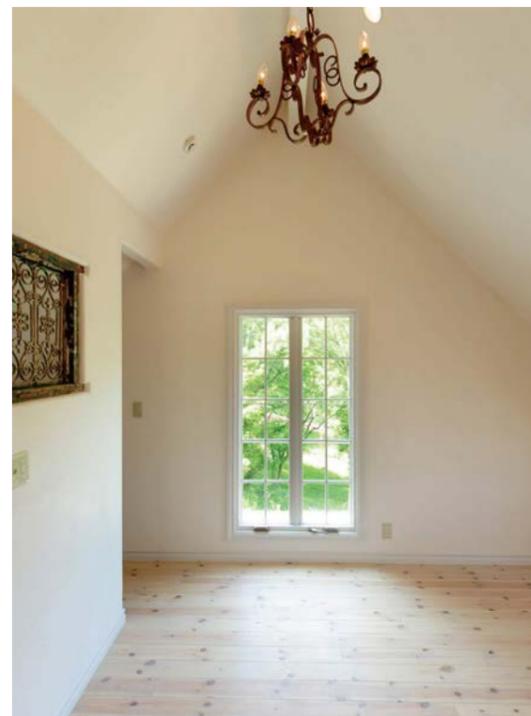


グラスウールは詰め込まず隙間なくぴったりと施工し、性能を発揮させます。

外 観、エクステリアのデザインにおいて、アクセントをもたらす窓。インテリアにおいては、絵画のように四季を描き映し出し、住む人に鮮やかな陽射しと新鮮な空気をもたらす窓。家づくりにおいて、窓はこだわりたいポイントのひとつです。グッディーホームズでは、「アメリカのアンダーセンの木製の窓」、「日本のクレトイシの樹脂製の窓」、それぞれをご提案しています。



隔 世の感がありますが、グッディーホームズが家づくりを始めた頃、日本の主要窓メーカーは、アルミ製の窓しか製造していませんでした。断熱性能、気密性能を追求すると、アメリカやスウェーデンの海外のメーカーの窓を選択する他ありませんでした。



高 度経済成長期の1960年代に、日本の住宅に導入され始めたアルミ製の窓は、耐候性や強度、寸法の安定性能に優れ、木製引き戸の建付けからくる隙間風や雨仕舞に悩む日本の住環境を大きく変えました。しかしその反面、断熱性能が低く結露の原因となっていました。結露はカビや腐りの温床隣住宅の快適性を大きく損ないます。2000年代の初頭になると、日本は「窓後進国」とまで言われるようになっていました。

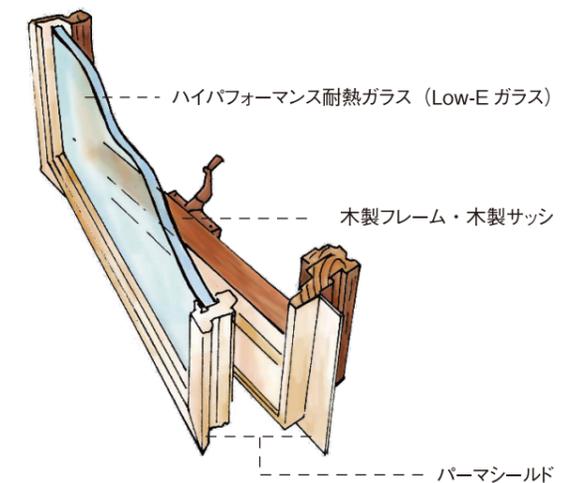
今 日、世界で最も断熱性能の高い窓を造っている国はどこでしょう。アメリカでしょうか？スウェーデンでしょうか？いいえ、実はそれは日本なのです。2016年、LIXILは世界最高峰となる断熱性能(熱貫流率)0.55W/m²・Kを実現した高性能窓「レガリス」を発表しています。2010年代に入ってから、新築住宅における樹脂製の窓の普及は、結露に悩む日本の住環境を変えつつあります、現在では性能を求めて海外メーカーの窓を選択する必要もありません。



で はなぜ、今なおアンダーセンの窓を選択するのでしょうか。その大きな理由は優れたデザイン性にあります。室内側の木製枠が醸し出す温かみ、手触り、年を経るごとにますます重厚感は、国内のメーカーでは得ることができないからです。また、外壁側の木部はアンダーセンの特許技術パーマシールド樹脂で被覆されており、20年以上の長期にわたり新築時の美しさを保つことができます。



方、クレトイシ社も、元々はアメリカの樹脂製窓メーカーのサーティンティード社と提携していた会社で、近年、満を持して自社ブランドのモンタージュを発表しました。モンタージュは、アメリカのサイズ・デザインをそのままに日本市場向けに開発、改良した商品です。日本のメーカーならではの品質の安定感が高い評価を得ています。





湘南の波と暮らす

Surfer's House

趣味のサーフィンを楽しむため、海へのアクセスも考えたビーチハウス。休日や平日の早朝は家族で自転車を走らせ、海へ通っています。芝生やフェンスなどのエクステリアもアメリカ西海岸のサーファーズハウスをモデルに、遊び心満載。エントランス横にはシャワーブースも完備。もっとも目を引くカバードポーチは10㎡以上あり、サーフグッズもたっぷり置ける広さです。

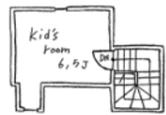
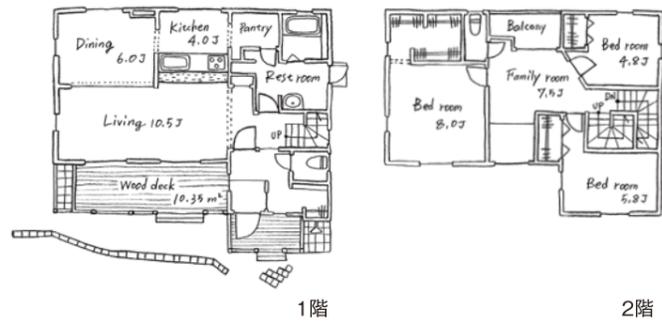




湘南の波と暮らす
Sunfen's House

DATA

家族構成 ご夫婦+お子さま4人+犬
構成 3LDK+小屋裏部屋
敷地面積 153.57㎡
建ぺい率 50%
延床面積 134.34㎡



小屋裏部屋

階段の壁も床も、丸みのある左官仕上げ。1階リビングと同じ、ホワイトとイエローを混ぜたエコウォールという天然素材の壁材を使用しました。



▲キッチンが両側から出入りができる間取りに。片側はパントリーを経て洗面脱衣室へと続きます。小さいお子さまがいるご家庭では、家事をしやすいお部屋の配置が重要ですね。
◀バーカウンターのようなキッチンがお洒落。リビングの床にはミストラル・イエローという自然石を採用し、ダイニングとキッチンの床には赤松無垢のフローリングへ切り替えています。

玄関床にはノルディックスライスという、アンティークの石畳を、フローリングには古材を使用し、表情豊かな空間が出迎えてくれます。
ヴィンテージの白いドアは、ご主人と弊社代表と一緒にアンティークショップを訪れ、見つけた一点ものです。



ご家族それぞれの寝室では、お部屋ごとに壁の模様を選び、個性の光るお部屋づくりを楽しみました。小屋裏部屋は全面が青空模様。白い家型のドアは弊社代表の手づくりです！



吹き抜けのリビングとプレイルーム

Built-in Garage House

赤いポストが目印の、アーリーアメリカンスタイルのお家。すっきりとしたブルーグレーのラップサイディングにホワイトの縁取りが上品な印象。正面から見た切妻屋根と、東側にふたつ並んだドーマーが違った表情を見せてくれます。





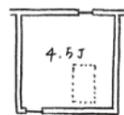
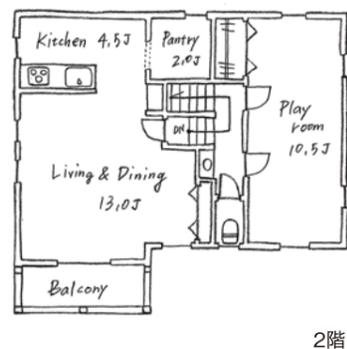
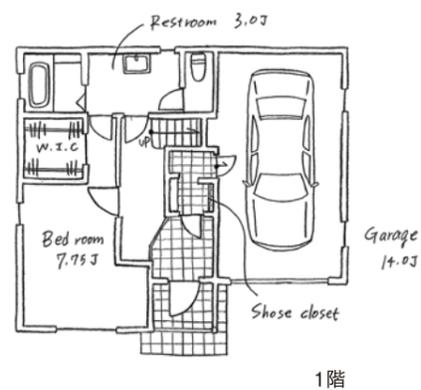
爽やかなグリーン系の家具やインテリアで統一されたダイニングキッチン。キッチンカウンターには石の天板を採用。清潔感のある明るい空間に。

吹き抜けのリビングとプレイルーム

Built-in Garage House

DATA

- 家族構成 ご夫婦+お子さま1人
- 構成 2LDK+小屋裏収納+ガレージ
- 敷地面積 130.10㎡
- 建ぺい率 60.16%
- 延床面積 122.54㎡



小屋裏部屋



ふたつのドーマーから光が差し込んだ、明るく広々としたプレイルーム。お子さまの成長と共に2部屋に分けられる間取りです。将来を見据えたお家づくりに胸が躍ります。



ダイニングテーブル周り、ランダムに並んだ椅子は、奥さまのコーディネート。白いカーテンが揺れると、やさしい春風の香りがする、ご家族の憩いの場所です。爽やかな白いドアが並びリビング。高い吹き抜け上部にシーリングファンが回り、お部屋の空気を循環します。



キッチンの上部には4.5畳の小屋裏収納。生活感を感じさせない収納は嬉しいですね。リビングから見える小窓がアクセントになっています。

グリーンクロスを採用した廊下にある小さな手洗い台。落ちついた雰囲気となり、ちょっとした空間にもこだわりが見られます。

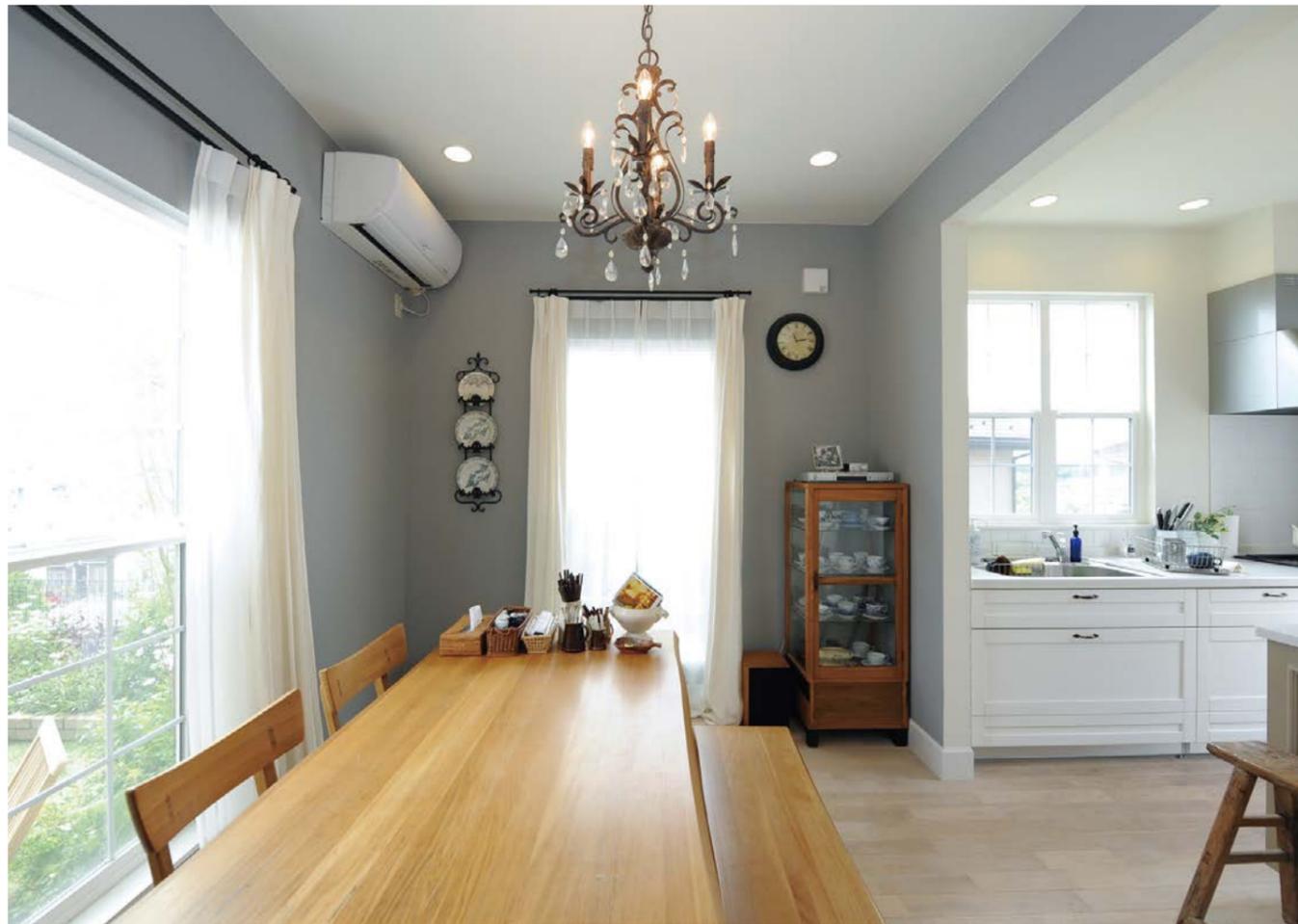


スモーキーカラーのアンティークハウス

House with a Rose Garden

見晴らしの良い丘に建つシックなお屋敷。白いウィンドルーバーが映えるクリーム色の外壁。シンメトリーにこだわった外観のお家のなかには、上品なアンティーク家具が並んでいます。毎年6月になると甘い香りが立ち込めるホワイトローズ・ガーデンは、上品でシャビーな雰囲気です。



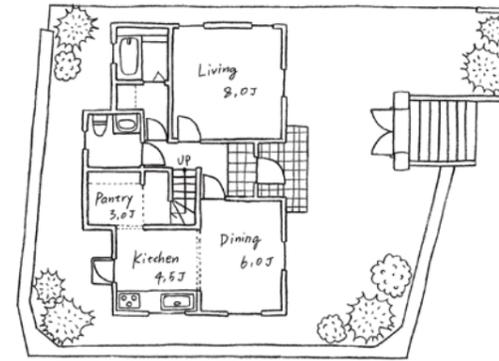


室内の壁には、石膏ボードにパテで下処理を施したドライウォールを使用。キッチン側とダイニング側で色分けをして、空間が上手に仕切られています。明るく大きなシステムキッチンは、お料理が好きなご夫婦のお気に入りの場所です。

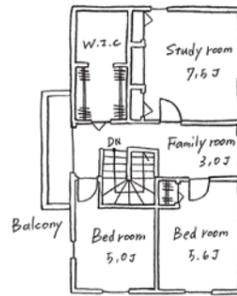
スモーキーカラーのアンティークハウス
House with a Rose Garden

DATA

家族構成 ご夫婦+猫
 構成 3LDK
 敷地面積 220.47㎡
 建ぺい率 45.83%
 延床面積 97.73㎡



1階



2階



ご夫婦の本を収納するために壁一面を本棚に!
 こちらも外観同様のシメトリなデザイン。左右の棚には扉を付けたことで、圧迫感を感じさせません。



2階の寝室には、海外旅行が趣味のご夫婦こだわりのインテリアが。床は、オークの無垢フローリングにホワイトの塗装を薄く。



リビングへ通じるドアの上部にステンドグラスを施しました。天井が高いシリーズを生かした仕様となっており、空間の深みがぐっと増します。





南フランスのぬくもりある暮らし

Old French Country Home

子どもの頃に絵本で見たような三角屋根、ヨーロッパの古民家を思わせる窓飾り、訪れた人を家の中へと誘う玄関のアーチ。どこか懐かしいファンタジーな雰囲気のお家です。全体的に丸みのあるやわらかな左官仕上げは、職人の技の賜物です。





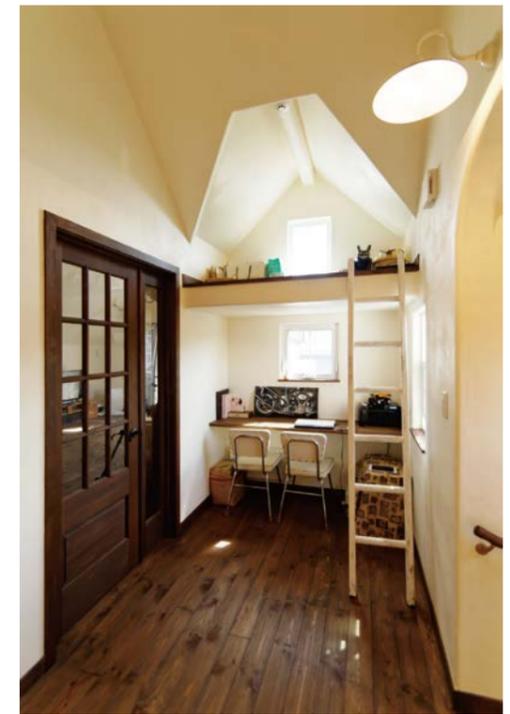
メインの居住空間となる2階のリビングダイニングは、大きな勾配天井が特徴です。広々とした空間に木漏れ日がやさしく差し込むと、都会の喧騒を忘れさせてくれます。奥のアーチをくぐった先にはかわいらしいキッチン。



キッチンカウンターから見える景色。低い位置に取り付けた小窓や天井の母屋下がり、可愛らしくほっとする空間をつくっています。



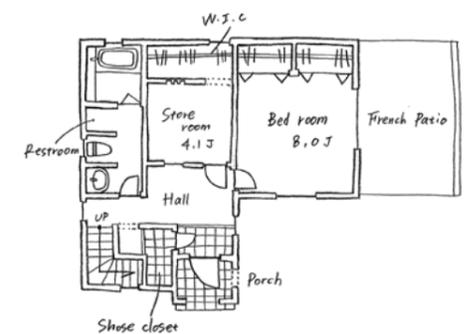
階段をのぼった先にある、ファミリールーム。造作のカウンターとロフトは使い勝手も様々。



赤松無垢のフローリングには、ドイツのLivoss社の塗料を使用。ビターチョコレートのような深みのある風合いが魅力です。さらに、1年を通して裸足で過ごしたくなる心地よさがあります。



内壁は、エコウォールと呼ばれる天然素材を使用。洞窟の中にあるような安心感があります。

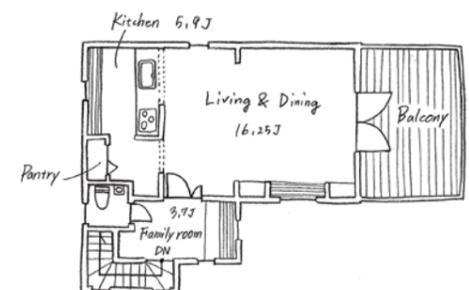


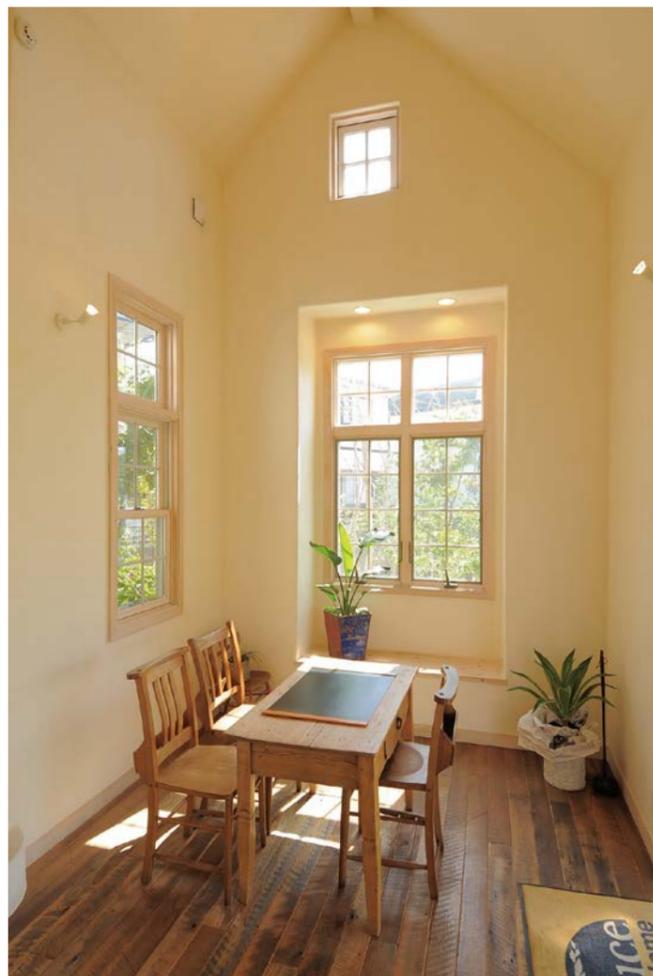
南フランスのぬくもりある暮らし

Old French Country Home

DATA

家族構成	ご夫婦+お子さま1人+うさぎ
構成	2LDK+サービスルーム
敷地面積	128.00㎡
建ぺい率	50.09%
延床面積	110.22㎡





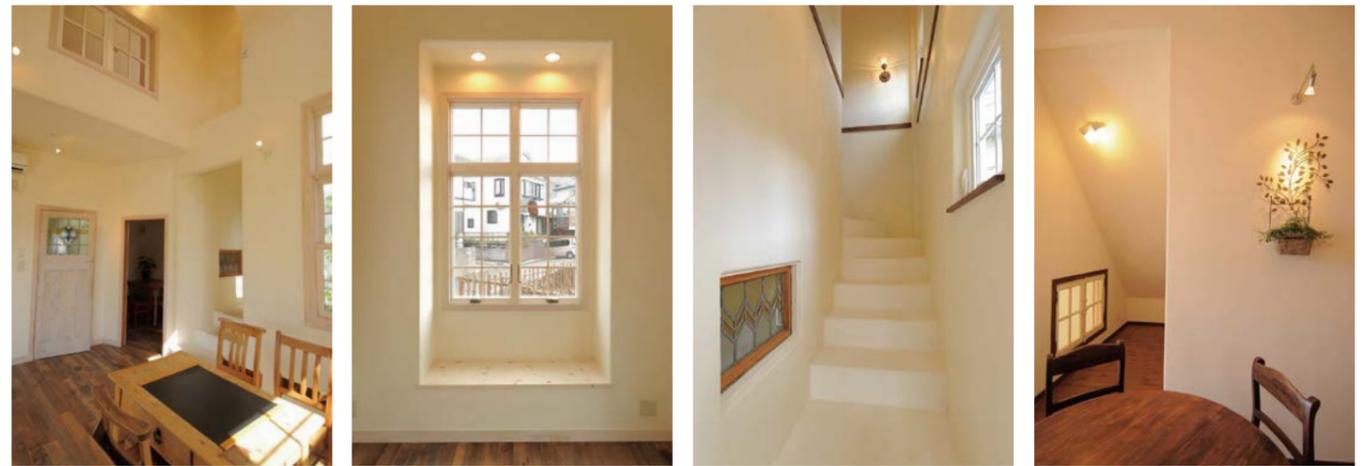
小さいながらも落ち着ける我が家

Small'n cozy

季節ごとに違う表情を見せる物語の中のでてくるような庭や、アンティークドアやペンキの剥けたルーバー、無垢のフローリング、ドームの天井、塗り壁のコテむら。すべてが愛しい、そんなわたし達の心地よい我が家。グッディーホームズの事務所として建てられたこのお家(～2018年)は、洗練されたデザインはもちろん、自然健康塗料やエコロジー、高气密など、機能的にも考え抜かれた建築です。



1階のミーティングルームは自然素材に囲まれた光溢れる優しい空間。階段には外壁材のスタッコラートを使用しています。



貝殻などの天然素材を使用した「エコウォール」というパニラ色の塗り壁はその素敵な見た目だけでなく、マイナスイオンや遠赤外線効果で、消臭・殺菌・防カビ対策を兼ねる住む人に優しい素材です。そんな自然に優しい素材に包まれているからか、お部屋の中もあたたかく感じます。

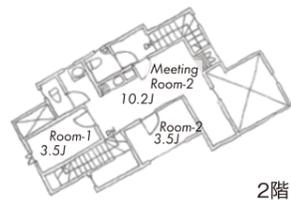
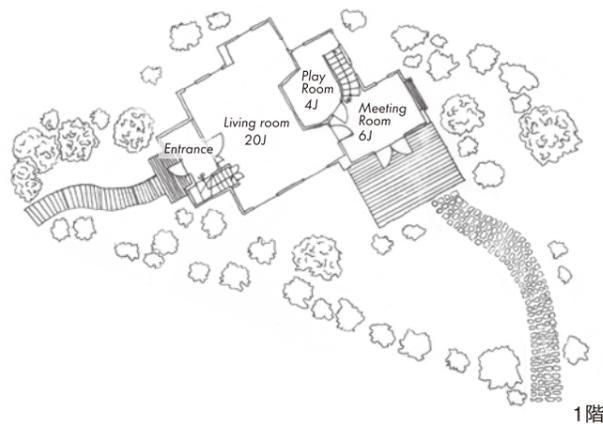


2階ミーティングスペース。屋根の形を残した勾配天井が、空間に広がりをつくろぎを感じさせてくれます。アンティーク窓のベンチには小鳥が遊びにくることも... 子どもたちのお気に入りの場所となっていた、1階と繋がっている小さな室内アンティーク窓からは楽しいな声が聞こえ、思わず覗き込みたくなります。

小さいながらも落ち着ける我が家
Small'n Cozy

DATA

用途	グッディーホームズ株式会社 旧事務所 (2018年まで)
構成	3LDK+プレイルーム+テラス
敷地面積	565.21㎡
建ぺい率	12.82%
延床面積	111.99㎡



2階



外からは小さく見えても、吹き抜けや勾配天井、窓を効果的に取り入れることで広く感じることができます。そして、塗り壁やステンドグラス、室内窓など、日々の生活を豊かに彩る仕掛けがたくさんあります。

低い位置に配した窓から優しい光が差し込む、階段下にあたるデッドスペースもプレイルームとして有効活用。ドーム天井の空間に包まれ、空に輝く星のような天井照明も安心感を与えてくれます。



様々な種類の植物が育つ庭とぬくもりを感じるウッドデッキ、ビンテージ床材、アンティーク扉や窓、エイジング加工を施したポスト、テラスへと続く敷石など、細部にまで私たちのこだわりがたっぷり詰まっています。そして、いろいろな表情を見せる豊かな外部空間が、動物や植物とのつながりを私たちに感じさせてくれます。



リフォーム&リノベーション

About house renovation

私たちグッディーホームズは、リフォームやリノベーションも承っています。これまでの施工例をいくつかご紹介いたします。
古い持ち家を改築したり、購入した中古マンションや中古戸建を自分のこだわりを込めたお家につくり替えたいなど、お家づくりについてのお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。



ex.1

ドアや壁をなくし、ひとつの大きな空間にすることで開放感あるLDKに。床は温かみを感じる無垢材のフローリング。アンティークテイストの家具やナチュラルな雑貨が似合うホワイトのクロスに張り替えました。キッチンカウンターの上には飾り棚を造作。お施主さまが憧れていたというフェミニンで可愛い空間に生まれ変わりました。



ex.3

既存の建物にカバードポーチの増築。のっぺりとした印象だった正面玄関にアーリーアメリカンなカッコいい庇とアウトドアリビングが誕生。外部照明も取り付け、夜でも明るい雰囲気です。デッキにテーブルを出して家族で食事をするなど、お家で過ごす楽しみの幅が広がりました。



ex.2

暗い雰囲気だった玄関ホール。ナチュラルホワイトの輸入建具に変更。ルーバー付きのシューズクローゼットは、デザインだけでなく通気性も良く快適な空間に。玄関に入って正面の壁は明るいレンガ調、サイドには腰壁でアクセントを加えました。



それは、子どもたちが感動した時の、最上級のきらめきが詰まった言葉。
私たちが家づくりで一番大切にしたいのは、そんな新しい暮らしへのときめきです。
予算や時間、場所など、様々な制約が高い壁として立ちはだかることもありますが、
その壁を一つ一つ、一緒にクリアしながら、理想の暮らしを作り上げていきましょう。

グッディーホームズ株式会社
Goodyhomes inc.

湘南エリアを中心とした輸入住宅の建築／不動産取引（不動産売買及び仲介）

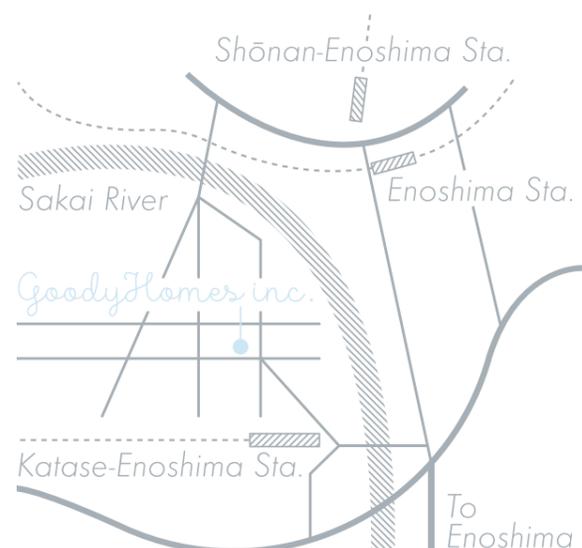


代表取締役

二見正樹
Masaki Futami

二級建築士
宅地建物取引士

ヒアリングから設計、大工、現場管理まで一貫して行う。趣味はアメ車、バイク、欧米への旅。



住所 〒251-0035 神奈川県藤沢市片瀬海岸 2-6-10

営業時間 9:00-18:00

定休日 水曜日・日曜日（予約制）

tel / fax 0466-90-3300 / 0466-90-3344

mail info@goodyhomes.com

web http://www.goodyhomes.com

goodyhomes.inc — お知らせ／施工例
goodyhomes.housemaking — 現場進捗

LINE@ GOODYHOMES
— お得なセール・キャンペーン情報を発信中!

https://www.pinterest.jp/goodyhomes/

https://www.facebook.com/Goodyhomes.inc/

RoomClip Room No. 917095

